

技術開発の将来ビジョン検討WG（仮称）の設置について

1. 背景

- 国土交通省では、平成24年12月に「第3次国土交通省技術基本計画」（計画期間は、平成24～28年の5年間）を策定し、これに基づき、技術研究開発を含む技術政策の取組を推進。
- 現行技術基本計画のフォローアップ、次期技術基本計画の検討等にあたっては、例えば2050年における社会経済状況や国土のあり方など、長期的な視点を見据えた上で、技術研究開発を含む技術政策について議論を進めることが必要。
- 一方、国土交通省では2050年の国土のグランドデザインの議論が進められており、これを実現するための技術的課題についても検討が必要。

2. 検討体制の整備

社会資本整備審議会・交通政策審議会 技術部会の下に、以下のとおりワーキンググループを設置して議論を行う。なお、ワーキンググループの設置には「社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会運営規則」の改正が必要。

(1) 名称

「技術開発の将来ビジョン検討WG」（仮称）

(2) 目的

今後の関連技術の進展、社会情勢の変化等を見据えつつ、長期的視点から国土交通省が取り組むべき技術研究の方向性を明らかにし、新たな技術開発案件について検討、抽出することを目的とする。

(3) 検討事項

今後の社会経済情勢・環境などの変化、新たな技術の進展、グローバル化、国土交通省に対する社会的要請やユーザーニーズなどを踏まえ、長期的な視点に立ち、以下の事項について検討を行う。

- ICT、エネルギー、バイオなど各分野における新技術の現状及び将来の方向性

●将来の社会像・国土のグランドデザインを実現するために達成すべき国土交通行政に係る技術上の課題と、これを解決するための技術研究開発の方向性

※ 検討に当たっては、2020年東京オリンピックの際に実現可能な技術の具体化も視野に入れることとし、検討結果については、適宜、次年度の施策や取組に反映させる。さらに、併せて、2020年以降の技術開発の方向性を検討する。

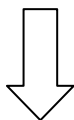
(4) 進め方

委員及び外部有識者より、幅広い分野から、検討事項に関してプレゼンを行い、論点整理を行いながら技術開発の方向性について整理を行う。

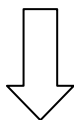
その際、外部有識者は、ICT、エネルギー、バイオなど最先端のシーズ技術の知見、学識を有する者を中心に選定する。

3. 今後のスケジュール

3月28日 社政審・交政審技術部会
運営規則の改正、WG設置について

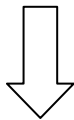


4月～5月 WGを設置



有識者等から話題提供、意見交換など

夏ごろ 当面の論点整理



引き続き、WGにて議論